

14. 地域における実践的マーケティング活動

松商短期大学部商学科 金子 能呼

(1)活動内容と成果

担当するゼミナールの研究内容はマーケティングであり、学生が知識を得るだけではなく、その知識を活用することに主眼を置いている。そのため、地域での実践的な活動やアクティブラーニングを導入し、学生には主体的かつ能動的に学習するよう促している。

卒業研究のテーマであり、主力の活動として位置づけているのが、おにぎりの商品開発である。地元JAから依頼があり、JAのブランド米を使用したおにぎりの商品開発を11年前より続けている。今年度はテーマに「インスタ映え」を加え、さらには大学院生とのコラボ企画である「管理栄養士監修」のおにぎりづくりに学生たちは挑戦した。見た目と栄養価も考える必要があり、これまで以上にレシピづくりが難しくなったが、それだけにアイデアを形にするプロセスにおいて考え抜く力、前に進む力が求

められ、鍛えられたように思う。

また、数年前からはバレンタインスイーツの企画・販売のプロジェクトにも関わり、継続的な取組となっている。今年度は、松本市内のパティスリーに協力していただき、3種類のスイーツを企画し、販売イベントにおいて完売することができた。実践的な活動においては、緊張感と責任感を持って活動するなかで、マーケティングの本質を理解し、マーケティングを実践する力を身につけることができる。また、自分の役割を意識し、チームワークを強化していくことが重要となるため、コミュニケーションの大切さを実感することができたのではないかと考える。



ゼミ中におにぎりの試作を行う様子



学生が考えたインスタ映えするおにぎり



売り場での「見せ方」を創意工夫する学生たち



学生が企画し、販売したバレンタインスイーツ

(2)成果の公表(活動発表・論文執筆等)

研究成果は学生が卒業論文にまとめ、教員は学内研究発表会で報告を行った。さらに、活動の成果をおにぎりレシピ集としてまとめた。このレシピ集については、随時配布していく予定である。